

TOPICS

昨年12月15日、熊本市内のホテルで「平成23年度九州地区交通安全普及活動合同報告会」が開催された。この報告会はホンダおよびホンダ関連企業と、九州地区の交通安全関係者との情報交換を目的としている。

主催した本田技研工業(株) 安全運転普及本部熊本普及ブロックは平成23年の活動の成果を報告。熊輪会からは所属する各社の交通安全活動が紹介された。この他、熊本県交通安全教育講習員が高齢歩行者向けの指導を参加者に披露。最後に、熊本県警察本部企画課の木庭強課長が「地域とホンダやその関連会社が一体となった活動は着実に成果をあげていると思います」と総評を述べ、報告会は終了した。



高齢歩行者向けの指導を
実演する熊本県交通安全
教育講習員の山口久代さ
んと船津千鶴さん

主催者を代表して挨拶を行う千葉英雄・本田技研工業(株) 安全運転普及本部事務局局長



※熊輪会=九州地区のHonda関連会社からなる組織

5 より良い活動に向けた情報交換の場

●平成23年度九州地区交通安全普及活動合同報告会



参加者を子どもに見立てて、インストラクターが「あやとりいひよこ編」の指導を実演

「あやとりいひよこ編」は子どもが参加しながら交通安全の基本を学べる点が良いと感じました。今後は、こうした民間のノウハウも参考にしていきたいです」と話

※あやとりいひよこ編はHondaが鈴鹿市と協力して開発した交通安全教育プログラム。幼児～小学校低学年対象の「あやとりいひよこ編」、小学3～4年生対象の「あやとりいひよこ編」、幼児～小学校高学年対象の「あやとりいひよこ編」自転車教室、高齢の歩行者・自転車利用者対象の「あやとりいひよこ編」がある。あやとりいは「あやとりいひよこ編」を「やさしくときあかしりかいていただく」の略。詳細は以下ホームページを参照。 <http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/ayatorii/>

4 「あやとりいひよこ編」を活用した幼児への指導方法を伝える

●警視庁「交通安全教育技能レベルアップ研修」

昨年11月8日、10日の両日に警視庁(東京都千代田区)で「交通安全教育技能レベルアップ研修」が開催された。警視庁では若手の交通警察官の指導力の向上を目的として、同研修を行っており、2日間で100名が参加した。

この研修では、本田技研工業(株) 安全運転普及本部埼玉普及ブロックによる、ホンダの幼児～小学校低学年

年向け交通安全教育プログラム「あやとりいひよこ編」と、その指導方法の紹介も行われた。

まず、埼玉普及ブロックの猪俣薫ブロックリーダーが参加者にホンダが40年以上にわたり安全運転普及活動を継続している想いや、活動の体制などを説明。その後、インストラクターが幼児の行動特性と、「あやとりいひよこ編」を開発した目的について述べた。

警視庁交通部交通総務課交通安全教育指導係の野澤紀久乃主査は「民間の企業も積極的に交通安全教育に取り組んでいることを交通警察官に知ってもらうことがねらいです。」

※あやとりいひよこ編はHondaが鈴鹿市と協力して開発した交通安全教育プログラム。幼児～小学校低学年対象の「あやとりいひよこ編」、小学3～4年生対象の「あやとりいひよこ編」、幼児～小学校高学年対象の「あやとりいひよこ編」自転車教室、高齢の歩行者・自転車利用者対象の「あやとりいひよこ編」がある。あやとりいは「あやとりいひよこ編」を「やさしくときあかしりかいていただく」の略。詳細は以下ホームページを参照。 <http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/ayatorii/>

6 動物とのふれ合いの中で、交通安全に親しんでもらおう

●宇都宮動物園・交通安全イベント

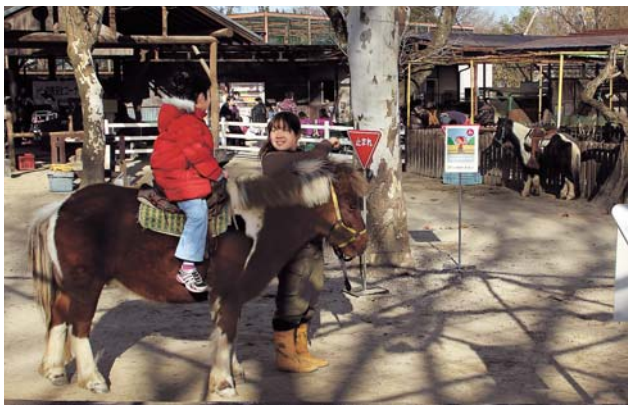
昨年12月23日、宇都宮動物園(栃木県宇都宮市)で、同園と本田技研工業(株) 安全運転普及本部栃木普及ブロックによる交通安全イベントが開催された。

栃木普及ブロックでは、動物園が「命の大切さ」や「動物の生活の中でのルール」などを子どもたちが感じ取る場であることから、そうした純粋な気持ちの中で交通安全の大切さを再確認してもらおうと、このイベントを同園に提案。今回は昨年7月に続き2回目となる。

この日は、動物園内に交通安全コーナーを設け、子どもたちにホンダ自転車シミュレーターを体験してもらい、栃木普及ブロックのインストラクターが自転車の正しい乗り方を伝えた。

乗馬体験コーナーでは、馬に乗る子どもたちを対象に、ホンダが開発した「交通安全かるた」を活用した交通安全のワンポイントアドバイスが行われた。乗馬コース内に見通しの悪い交差点と「止まれ」の標識を設け、そこを通過する時に同園職員が馬を止め、子どもに左右の確認を実践してもらった。

同園の荒井賢治園長は、「動物園の周辺はクルマの往来がかなりあります。来場されるお子様に「止まって、観る(観察する)」ことの重要性を、楽しみながら学んでもらおうと思います。学んだことを実生活でも活かしてほしい」と話した。



宇都宮動物園の職員が乗馬を体験する子どもたちに交通安全指導を行った



当日は、本田技研工業(株) 安全運転普及本部栃木普及ブロックが動物園内に交通安全コーナーを設けた



NEWS REVIEW

●2011年Honda 安全運転普及本部 年末ご挨拶会

安全マインドをお客様と社会に幅広く提供するための普及活動



近藤広一・本田技研工業(株) 代表取締役会長

昨年12月9日、Honda青山ビルにて「2011年Honda 安全運転普及本部年末ご挨拶会」が開催され、交通関係者約300名が参加した。

報告会では、近藤広一・本田技研工業(株) 代表取締役会長が「東日本大震災、タイの洪水、円高と、Hondaを取り巻く環境は厳しい状況が続いていますが、持てる資源を最大限に活用し、さらなる成長をめざしていきたい」と挨拶。さらに「環境と安全については、商品やサービスを通じて、『低炭素化社会』と『安全で快適な交通社会』の実現に向けて、これまで以上に取り組んでいく所存です。安全については、『交通社会に共存する、すべての人の安全をめざす』ことを基本的な考え方に置き、活動に取り組んで

きました。その中で、Hondaの5つの事業所を拠点とする地区普及ブロックでは、幼児や小中学生、高校生、高齢者向けに、Hondaオリジナルの歩行者・自転車用の教育プログラムの普及拡大をめざし、活動しています。これらの展開では地域の警察、自治体、自動車教習所の皆様の手を通じて、交通安全の輪を広げることができました」と述べた。

続いて、千葉英雄・本田技研工業(株) 安全運転普及本部事務局局長が、2011年の安全運転普及活動の報告と今後の取り組みについて、映像を交えて紹介した。

最後に、来賓を代表して石井隆之・警察庁交通局長が挨拶。「交通安全指導者を育成する『人づくり』、交通安全教育の機会を提供する『場づくり』、教育機器を開発する『ソフトウェアの開発』を展開されていることに敬意を表します。このような先進性・独自性のある活動の推進を警察としても心強く思っており、引き続き取り組んでほしい」と語った。

報告会の後は、懇談会が開かれ、交通関係者の交流の場となった。



石井隆之・警察庁交通局長

●埼玉県警察本部・自転車マナーアップ推進事業

緊急雇用創出基金を利用した街頭での啓発活動

埼玉県警察本部では、平成23年9月から平成24年3月末まで、緊急雇用創出基金を利用した街頭での自転車マナーアップ推進事業等を実施している。同事業は、警備業者に委託した指導啓発隊(5人1組、20班の計100人)が、埼玉県内の交差点や中学・高校の前で自転車利用者を中心に直接、指導を行い、自転車の交通ルールの周知とマナーの醸成を図るものである。指導啓発の際には、「埼玉マナーサイクルカード」(上記参照)を使って、自転車の交通法規を対象者一人ひとりに確認してもらっているという。さらに、どこでも簡単に巻き付けることができるタックルバンド反射材も配布している。「歩行者の多い交差点では、自転車を降りて横断する自転車利用者が増えた」「その場でもらって、すぐに反射材を自転車に装着できる」という声が県民から寄せられるなど、街頭での直接指導は着実に効果を上げている。

